

事業番号	04 01 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	長野県150周年記念事業	部局	県民文化部	課・室	県民政策課				
		実施期間	R7 ～	E-mail	kenmin @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

・明治9年(1876年)8月21日に筑摩県と長野県が合併し現在の長野県が誕生し、令和8年(2026年)には150周年を迎える。
・この機会を本県の価値向上に活用していくにあたっては、県全体で一体的に取り組むことが効果的であり、市町村、企業・団体など、様々な主体と連携し事業を展開していく必要がある。

2 事業目的

令和8年1月～12月までの1年間、断続的に各種事業を実施することで、多くの県民の方々が、自分達の歩みを知り、価値に気づき、誇り・アイデンティティを持ち、信州各地のさまざまな価値を知り、実際に触れ、体験してみることを通じ、互いをリスペクトし、価値を高め合い、県全体の価値・魅力の向上へとつなげていく。

3 事業目的を達成するための取組

① 情報発信等による県民機運の醸成

県民に対し、令和8年が長野県150周年の節目の年であり、さまざまな取組が実施されることを広く周知するとともに、150年の歩みを振り返り、よりよい未来を創造しようという機運を高めるための情報発信を実施。

② 市町村、民間企業・団体等との連携推進と事業実施支援

様々な主体に働きかけ150周年関連事業との連携を推進するとともに、各種PRツールや情報発信により、それらの事業実施を支援。

③ イベント、キャンペーン等の実施

若い世代を中心に地域の価値の再発見・実体験をしてもらえるよう、県民参加型の投稿キャンペーン、学校で実施される探究学習との連携、県内の周遊促進、既存の大型イベントへのブース出展等を行う。

※債務負担行為を設定：令和8年度 27,789千円（③④計）

④ 記念祭典の実施

「つながる長野県」をテーマに、年代、地域、障がいの有無等の垣根なく、インクルーシブに様々な人々でつくりあげる式典を開催する。多くの方々に県に縁のある多様な楽曲や伝統芸能を楽しんでもらうことで、地域への愛着と県の一体感の醸成を図る。

※債務負担行為を設定：令和8年度 27,789千円（③④計）

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R5年度			R6年度			R7年度			R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	実績	推移	実績	実績	推移			
①	ロゴ・PRツール利用申請数	件	—	—	—	—	—	—	142	—	—	75	達成	対象期間（R8年1月～12月）の指標を他県の類似実績等を参考に、市町村・団体からの申請150件、企業等からの申請150件と想定し300件に設定。そのうちの1-3月分。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (☆印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年/ 年度	数値	年/ 年度	数値	年/ 年度	数値	年/ 年度	数値
3-1③	地域活力の維持・発展										

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	0	0	10,239	10,239	10,239	10,182	2.0
R6年度	0	0	0	0	0	0	0.0
R5年度	0	0	0	0	0	0	0.0

事業番号	04 01 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	長野県150周年記念事業			部局	県民文化部	課・室	県民政策課		

7 主な取組実績と成果

① 情報発信等による県民機運の醸成

- ・長野県150周年のシンボルとして記念ロゴを制作。ロゴは県民投票により決定（R7.9ロゴ決定、投票総数：13,505件）
- ・記念ロゴを使用した「のぼり旗」「懸垂幕」「大型タペストリー」等のPRツールを制作し、県有施設等に設置
- ・長野県150周年事業に関する各種情報（※）を取得できる特設サイトを開設（R7.12公開）
※事業概要・コンセプト、150周年の主な出来事をまとめた年表、特集記事、著名人からのメッセージ、関連事業（イベント・記念商）PR動画、特設サイト掲載写真の一覧
- ・長野県150周年を周知するため、令和8年1月1日の信濃毎日新聞朝刊に新聞広告（カラー15段）を実施

② 市町村、民間企業・団体等との連携推進と事業実施支援

- ・県内企業・団体、市町村等の各主体が長野県150周年と連携し事業を実施できるよう、長野県150周年関連事業認定及びロゴ使用申請の受付を開始。
認定事業に対しては、①にて制作した記念ロゴやPRツール、特設サイトでの情報発信により支援。
（R8.3.31時点 利用申請件数：142件）

③ イベント、キャンペーン等の実施

- ・県歌「信濃の国」のオリジナル歌詞や音楽に合わせたパフォーマンスを募集する「わたしの『信濃の国』投稿キャンペーン」を実施（事業期間：R8.2.10～R8.6.10、R8.3.31時点 投稿数：119件）
- ・テレビ信州の既存コーナー「クイズ信州ツウ」と連携し、長野県150周年にまつわるクイズ企画をオンライン及びイベントにて実施（オンラインクイズ 期間：R8.1.15～R8.2.6 参加者数：2,920名）
（イベント（マイチャン。まつり） 実施日：R8.1.31 来場者数：約220名）
- ・150周年をテーマにした探究学習を推進するための信濃毎日新聞社主催「こども新聞コンクール」及び「こどもスクラップ新聞コンクール」実施に向けた調整
※募集期間 こども新聞コンクール：R8.5.3～R8.9.2 スクラップ新聞コンクール：R8.8.24～R8.9.25

④ 記念祭典の実施

- ・「つながる長野県」をテーマに県内全域をつなぐ長野県らしい記念祭典の実施に向けた各種調整
（R8.8.21 メイン会場：松本市音楽文化ホール
サテライト会場：須坂イオンモールGoolightコート、長野県伊那文化会館、上田文化会館）

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	ロゴ・PRツール利用申請数	R6年度推移	-	R7年度推移	-	達成状況	達成
市町村、企業・団体に対して、県民文化部からの情報発信のみならず、各部局・地域振興局からも機会を捉えた周知を実施したため、142件の利用申請数となり目標を達成した。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・長野県150周年が県民に広く認知され事業目的の理解度が高まるよう、年間を通じた継続的なメディア露出やイベント・キャンペーン等により県民への情報発信を強化していく必要がある。
- ・県全体での盛り上げ機運の拡大が必要であり、県民をはじめ多様な主体が関わり様々な立場で取組が進むよう事業展開していく必要がある。

(2) 事業改善の方策

- ・8月の記念祭典をピークとし、年間で切れ目のない情報発信や参加型企画を展開する。
- ・特定のターゲットではなく、幅広い層の県民が気軽に参加できるキャンペーンや親しみやすいイベントとなるよう事業設計を行う。
- ・市町村、企業・団体に対して引き続き連携を働きかけるとともに、関連事業をPRしていく。

事業番号	04 01 02	細事業一覧（令和7年度実施事業分）			□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検		
事業名	長野県150周年記念事業		部局	県民文化部	課・室	県民政策課	

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	長野県150周年記念事業		－ 千円	－ 千円	10,182 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	情報発信等による県民機運の醸成	委託	ロゴマーク、特設サイトの制作 県内メディアでの情報発信		
			新聞広告1回、TV番組内での情報発信1回		
2	市町村、民間企業・団体等との連携 推進	委託	のぼり、ポスター等のPRツールの制作 ロゴ等の利用申請の対応		
			のぼり30セット、ポスター1,000枚、利用申請件数142件		
3	イベント、キャンペーン等の実施	委託	地域の価値を再認識してもらうことを目的としたデザインポスター展、投稿キャンペーン、探究学習との連携、デジタルスタンプラリー等の実施（債務負担行為設定）		
			委託事業のうちR8.2から投稿キャンペーン開始（6月10日まで） ※その他の取組はR8年度に順次実施予定		
4	記念式典の実施	委託	「つながる長野県」をテーマに、年代、地域等の垣根なく様々な人々でつくりあげる、参加できる祭典を実施（債務負担行為設定）		
			年度内実施なし（令和8年度に1回実施予定）		